

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	毎年6月
議決権行使基準日	毎年3月31日（その他必要がある場合はあらかじめ公告した日）
単元株式数	100株
期末配当金	毎年受領株主確定日3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に支払います。
中間配当金	中間配当を行う場合は、受領株主確定日9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に、取締役会決議により支払います。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（フリーダイヤル）
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所（証券コード 9056）
公告掲載方法	電子公告（ <a href="http://www.hutechnorin.co.jp/">http://www.hutechnorin.co.jp/</a> ）

（ご注意）

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 第62期 中間決算に関するご報告

平成26年4月1日～平成26年9月30日



## ● ごあいさつ

株主の皆さまには、日ごろより格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、景気回復の兆しも一部には見えはじめてはおりますが、当社グループが主軸をおく低温食品物流業界におきましては、「食の安心と安全」の実現が求められる中、より高度な物流品質のご提供はもとより、電力や燃油等エネルギーコスト増への対応や人材の確保、そして物流事業者としての環境への配慮など、取り組むべき課題は多岐にわたります。

これらの課題を念頭におき、安全日本一の実現や環境への対応、そして何よりも物流を支えるヒューマン企業として、人材育成に注力し、企業価値の向上に努めてまいります。

平成27年3月期(第62期)第2四半期連結累計期間の当社グループにおきましては、平成24年に開設した東京第二支店(東京都立川市)や京都センター(京都府京田辺市)の物量確保、TC事業における一部センターの取扱物量の増加などが奏功し、営業収益におきましては増収を確保することができました。

引き続き、これらの新たな施設の更なる稼働率の向上と、既存支店やセンター等における営業活動の強化、さらには平成27年秋の竣工を目標に建設中の当社最大の施設となる「(仮称)岩槻物流センター」開設に向け、プロジェクトチームを発足し、全社一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、改めまして当社グループへのご理解を頂き、更なるご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成26年12月

株式会社ヒューテックノオリン

代表取締役社長 綾 宏将



## 当第2四半期の連結業績の概要について

当第2四半期連結累計期間の営業収益におきましては、主に平成24年に稼働を開始した東京第二支店(平成26年10月1日付で旧東京支店第二センターから呼称変更、東京都立川市)や京都センター(京都府京田辺市)の物量確保、また、TC事業における一部センターの取扱物量の増加などが奏功し、増収を確保することができました。営業利益、経常利益につきましては、首都圏を中心とした取扱物量の増加による外注費や人件費の増加等により、また、四半期純利益につきましては、関係会社の株式売却に伴う法人税等の影響もあり(平成26年10月14日に公表)、ともに前年同期比で減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は199億5百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益は7億2千4百万円(前年同期比21.5%減)、経常利益は7億2千9百万円(前年同期比22.5%減)、四半期純利益は3億2百万円(前年同期比43.6%減)となりました。



東京第二支店



京都センター

## 通期の連結業績見通し

通期におきましては、新規の営業開発等により営業収益は400億円(前年同期比4.1%増)を見込みますが、上期から継続する全国的な人手不足が一層厳しくなるであろう環境の中、外注費や労務費の増加リスクや電力・燃油等エネルギーコストの上昇を慎重に鑑み、営業利益は

17億5千万円(前年同期比13.3%減)、経常利益は17億1千万円(前年同期比14.4%減)、当期純利益につきましては8億3千万円(前年同期比27.0%減)を見込んでおります。

# 決算ハイライト

## 利益配分に関する基本方針および当期の配当について

当社グループは、株主の皆さまに対する利益還元策を最重要課題として認識し、適正な利益配分を安定的かつ継続的に行うことを基本方針としております。なお、配当性向につきましては、具体的な数値基準を設けるものではありませんが、連結当期純利益の20%程度を一つの目安として配当金額を決定してまいります。

また、内部留保金につきましては、営業拠点の整備・拡充など今後の業容拡大による業績確保を図るため、

設備投資および財務体質の強化のための原資として充当する予定です。

当期の中間配当につきましては、当初公表(平成26年5月9日)のとおり、1株当たり14円00銭(支払開始日:平成26年12月5日)とさせていただきます。また、期末の配当金につきましては1株当たり14円00銭を実施する予定であります。この結果、1株当たりの年間配当金は28円00銭を予定しております。

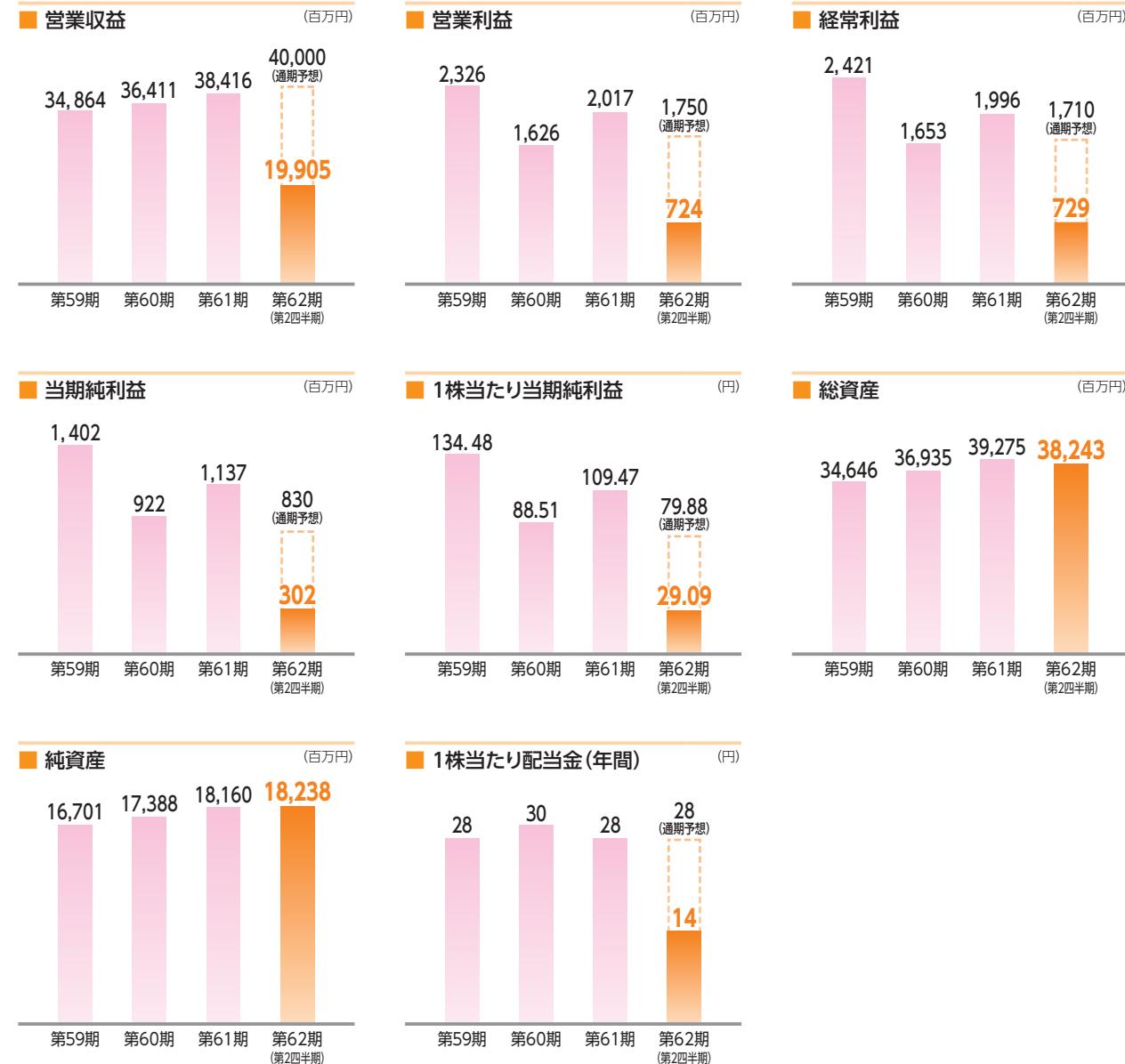
## TOPICS

### 関東地区での新センター構想(平成27年 秋予定)

関東地区における物量増への対応と機能の再編を目的とした、当社最大(70,000トン超)の冷凍冷蔵倉庫となる(仮称)岩槻物流センター(さいたま市岩槻区)を建設中です。平成26年10月1日にはプロジェクトチームを立ち上げ着実に準備を進めております。



(仮称)岩槻物流センター 完成予想図



(注)第60期は創業60周年記念配当2円を含んでおります。

# 第2四半期セグメントの概況

事業	営業収益	前年対比	営業収益構成比
DC事業 (保管在庫型物流事業)	14,702百万円	104.5%	73.9%
TC事業 (通過型センター事業)	4,599百万円	105.8%	23.1%
その他 <sup>※1</sup>	604百万円	99.1%	3.0%

(※1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備輸送業等が含まれております。

(※2) セグメントの営業収益は、内部振替前の数値を使用しております。

## DC事業

### ①低温食品の保管・配送事業

全国の各要衝に展開する流通型冷蔵倉庫において、低温食品の共同保管・荷役および輸入冷凍食品の特定保税承認業務を行い、併せて共同配送の機能を活かし、納品先へお届けするコールドチェーン物流を構築しております。



### ②病院食材物流

医療機関・医療関連施設および福祉施設などに、低温食品を中心とした食材の仕分・配送を行っております。



### ③加工業務

冷蔵倉庫に併設した工場において、冷凍野菜等の小袋パック事業を行っております。



## Distribution Center Business

## TC事業 Transfer Center Business

量販店や共同仕入機構、生活協同組合等の配送センター業務を365日24時間体制で行っております。



## その他

## The others



①警備輸送事業  
首都圏の金融機関で取り扱う現金・貴重品の輸送業務および店舗の売上金・両替金の集配金業務を行っております。

### ②病院関連物流事業 (連結子会社 株式会社ヘルティール)

病院向けリネン類の集荷配送、院外厨房物流および在宅介護用品の宅配等を行っております。



連結貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

科目	期別		増減	科目	期別		増減
	当第2四半期連結会計期間 平成26年9月30日現在	前連結会計年度 平成26年3月31日現在			当第2四半期連結会計期間 平成26年9月30日現在	前連結会計年度 平成26年3月31日現在	
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
流動資産	6,773	6,906	△132	② 流動負債	7,589	8,502	△912
① 固定資産	31,470	32,369	△899	固定負債	12,415	12,612	△196
有形固定資産	28,691	29,211	△519	負債合計	20,005	21,114	△1,109
無形固定資産	83	91	△7	<b>純資産の部</b>			
投資その他の資産	2,695	3,067	△371	株主資本	18,218	18,181	37
資産合計	38,243	39,275	△1,031	資本金	1,217	1,217	±0
				資本剰余金	1,392	1,392	±0
				利益剰余金	15,650	15,613	37
				自己株式	△41	△41	±0
				その他の包括利益累計額合計	△394	△415	21
				新株予約権	36	24	12
				少数株主持分	377	369	7
				純資産合計	18,238	18,160	77
				負債純資産合計	38,243	39,275	△1,031

① 固定資産

関係会社株式の売却に伴う投資有価証券の減少がありました。

② 流動負債

(仮称)岩槻物流センターに係わる設備関係支払手形の決済による減少がありました。

連結損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科目	期別		増減
	当第2四半期連結累計期間 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	前第2四半期連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	
③ 営業収益	19,905	19,018	887
④ 営業原価	18,091	17,096	994
販売費及び一般管理費	1,090	998	92
⑤ 営業利益	724	923	△198
営業外収益	105	120	△14
営業外費用	101	102	△1
経常利益	729	940	△211
⑥ 特別利益	18	0	18
特別損失	0	1	△0
税金等調整前四半期純利益	747	940	△192
⑦ 法人税等合計	436	393	42
少数株主利益	9	11	△1
四半期純利益	302	535	△233

③ 営業収益

東京第二支店や京都センターの物量の確保やTC事業における一部センターの通過金額の増加が寄与しました。

④ 営業原価

主に外注費と人件費の増加、電力料金や軽油費の値上げ等の影響がありました。

⑤ 営業利益

首都圏を中心とした取扱物量の増加や業務効率化に向けた外注費や人件費の増加が主な要因です。

⑥ 特別利益

関係会社株式売却による特別利益として18百万円を計上しました。

⑦ 法人税等合計

関係会社株式売却益に対する法人税等167百万円を計上しました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科目	期別		増減
	当第2四半期連結累計期間 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	前第2四半期連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	
⑧ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,267	2,436	△1,168
⑨ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,532	△1,846	313
⑩ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△36	△552	515
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△301	37	△339
現金及び現金同等物の期首残高	2,261	1,734	526
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	9	△9
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,959	1,782	177

⑧ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、12億6千7百万円(前年同期比47.9%の収入減)となりました。これは税金等調整前四半期純利益の減少ならびに法人税等の支払額が増加したことが主な要因です。

⑨ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得等により、15億3千2百万円(前年同期比17.0%の使用減)の使用となりました。

⑩ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の増額やリース債務の支払い等により、3千6百万円(前年同期比93.3%の使用減)の使用となりました。

## ● 会社概要 (平成26年9月30日現在)

商号	株式会社ヒューテックノオリン (Hutech norin Co.,Ltd.)
設立	昭和28年3月14日
資本金	12億1千7百万円
本社	〒130-0026 東京都墨田区両国二丁目18番4号 電話：03-3632-3434 (代表)
主な事業	冷凍・冷蔵食材の保管配送事業、 警備輸送事業
従業員数	1,303名 (連結：1,397名)
車両台数	724台
冷蔵倉庫	906,175㎡
普通倉庫	3,916㎡
連結子会社	株式会社ヘルティー (埼玉県越谷市七左町三丁目192番地) 株式会社ヒューテックサービス (東京都墨田区両国二丁目18番4号)

## ● 役員 (平成26年9月30日現在)

代表取締役会長	松田 鞆夫	常勤監査役	戸田 等
代表取締役社長	綾 宏将	常勤監査役	中木 義則
取締役相談役	青山 信幸	監査役	小澤 涉
常務取締役	峯 一央		
常務取締役	酒光 修史		
取締役	後藤 二雄		
取締役	米倉 清人		
取締役	坂内 茂昭		

(注1)常勤監査役戸田等および監査役小澤涉の両氏は、社外監査役です。  
(注2)社外監査役戸田等氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

## ● 株式等の状況 (平成26年9月30日現在)

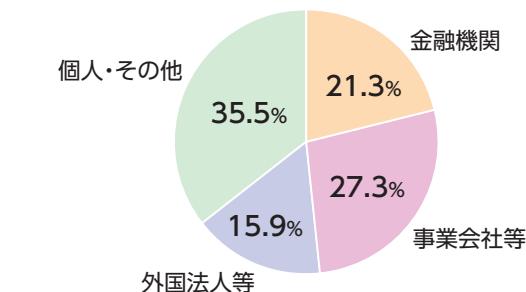
発行可能株式総数	41,750,000株
発行済株式の総数	10,438,000株
単元株式数	100株
総株主数	1,998名

### ■ 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
マルハニチロ株式会社	1,360,000	13.08
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライスド ストック ファンド	1,009,900	9.72
ヒューテックノオリン取引先持株会	570,800	5.49
農林中央金庫	520,000	5.00
共栄火災海上保険株式会社	520,000	5.00
ヒューテックノオリン従業員持株会	487,941	4.69
バンク ドルクセンブルグ クライアントアカウント 470004	477,300	4.59
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 雪印メグミルク 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	414,000	3.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	276,500	2.66
日清医療食品株式会社	220,000	2.11

(注)持株比率は、自己株式(48,364株)を控除して計算しております。  
また、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

### ■ 所有者別株式数分布状況



(注)個人・その他には当社自己株式(48,364株)を含んでおります。

## ● 株主優待制度

### 優待品

新潟県魚沼産コシヒカリ(新米)

### 贈呈基準

500株以上1,000株未満保有	3kg
1,000株以上保有	5kg

### 対象株主

毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者

### 贈呈時期

10月中旬(その年の気象条件等による収穫の状況によって前後する場合があります。)



## ● ホームページのご案内

ホームページが新しくなりました。

平成26年10月1日より、当社ホームページを全面的に刷新いたしました。

当社のホームページでは株主・投資家の皆さまに対して企業情報や財務情報をはじめとした、各種物流のサービス内容と、物流品質を重んじる私たちのこだわりを紹介しております。

今後も、更なる情報の充実、利便性向上に努めてまいります。当社のことを、よりご理解いただくためにも、是非アクセスして下さい。

<http://www.hutechnorin.co.jp/>

使いやすさ、  
探しやすさを  
考慮したデザイン

スマートフォンでも  
情報を探しやすい  
トップページ



IRページ



営業ページ



営業ページ、  
採用ページをはじめ、  
ホームページの  
情報量を充実

採用ページ

